

いつも当社システムをご利用いただきありがとうございます。

今月分の請求書を送付いたしますので、ご査収の程よろしくお願い申し上げます。

いつも大変お世話になりありがとうございます。

近畿地方は観測史上最も早い梅雨入りだったのに、関東甲信地方は、ここ10年で一番遅い梅雨入りになったそうです。晴れの日には真夏のような気温の毎日です。みなさまはいかがお過ごしでしょうか。

今月は、奈良の長谷寺へ行ってまいりました。

関東の方は、長谷寺というと「鎌倉」を思い浮かべるのではないのでしょうか。鎌倉の長谷寺は「花の寺」として有名ですが、奈良の長谷寺も「御花の寺」といわれています。

牡丹の見ごろは終わって花はきれいに剪定されていました。紫陽花が咲くにはまだ早く、お花の見ごろを外していましたが、ちょうど特別拝観の期間中で、ご本尊の十一面観世音菩薩像を間近に拝見し、お御足にタッチすることができました。

10mを超える観音立像は、足の指も爪もすごく大きくてふくよかで立派でした。観音様の足に触れ、こんなに間近で拝見したのも初めての経験です。観音様の大きな慈悲のお姿を真下から眺めることができ、感動で胸いっぱいでした。

鎌倉の長谷寺にも9メートルの木造観音像があるそうです。名前だけでなく、花も観音像も・・・共通点が多いですね！！

720年ころ、1本の巨大な楠の霊木から作られた2体の仏像のうち1体は奈良の長谷寺に。もう1体は衆生済度の誓願を込め、海に奉じられたのちに、相模国の沖合にあらわれて、鎌倉へ移され長谷寺開創の礎になったと伝えられているそうです。鎌倉と奈良の長谷寺にはとっても深いご縁があるのですね。

十一面観音菩薩像は、苦しんでいる人をすぐに見つけるために頭の上に11の顔があり全方向を見守っています。人々に寄り添い、様々な苦しみや困難を取り除いてくださるといわれています。

頭上の顔のうち、正面の三面には菩薩面（善良な人に楽を与える穏やかな慈悲のお顔）、左三面には狗牙上出面（歯をみせて行いの良い衆生を励まして仏道を勧る）、右三面には瞋怒面（邪悪な人を戒めて仏堂へ向かわせるお顔）、後ろ一面には大笑面（煩惱だらけの人の愚かさを笑い飛ばす）、頂上には仏面が配されています。

観音様の静かなお顔の裏側に、大笑いのお顔があるというのが、面白いですね。正面から拝んでいるだけでは、知ることができない・・・ということは、もしかすると、秘技・裏技を現わしているのではないのでしょうか！！（笑）

どんなに大変な出来事も、笑いとばせるような心持ちで居られることが、最幸（最高）&最強かもしれませんね。

夏至が近づいてきました。朝はまぶしくて目が覚めて、夕方はいつまでも明るくて、ハレバレと気分も明るくなっていきます。大変なことも色々ありますが、心身ともに健やかで明るい気持ちで毎日を過ごされます様にお祈り申し上げます。



本堂へ続く長い階段



素晴らしいお天気に恵まれました



本堂の前の舞台から、
新緑に包まれた素晴らしい眺望です。

今月も最後まで読んで頂きまして、
ありがとうございました。
来月もよろしくお願いいたします。